

製品名: HP1 ガンマウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02114**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.64mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 21 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cbx3
別名	HECH; HP1-GAMMA; HP1Hs-gamma; CBX3
遺伝子 ID	12417.0
SwissProt ID	P23198
免疫原	マウス HP1 ガンマの合成ペプチド

背景

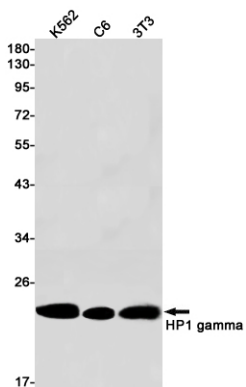
ヘテロクロマチンの構成要素。ヒストン H3 末端の Lys-9 メチル化を認識して結合し、エピジェネティックな抑制を引き起こす。

す。E2F1、MYC、CDC25A など、ユークロマチンに位置する多くの遺伝子の抑制に関与していると考えられる。MIS12 複合体タンパク質との相互作用を介して機能的なキネトコアの形成に関与する。H3 の Lys-9 トリメチル化を介して局所クロマチンをヘテロクロマチン様抑制状態に変換することに寄与し、PER 複合体によるメチルトランスフェラーゼ SUV39H1 および/または SUV39H2 の、PER2 自体または PER1 などの概日リズム標的遺伝子の E ボックスエレメントへのリクルートを媒介する。

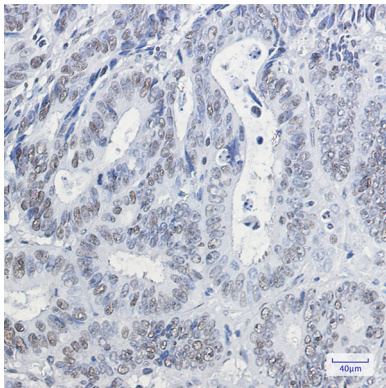
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HP1 ガンマ抗体を使用した K562、C6、3T3 溶解物中の HP1 ガンマのウエスタン ブロット分析。



HP1 ガンマ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。